

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 グラウンドソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和4（2022）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、選手15名以内（男女は問わない。）とし、他に専任のコーチャー4名以内、スコアラー1名及びマネージャー1名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は90分（決勝・3決は110分）とする。
試合は7回までとし、試合開始後80分（決勝・3決は100分）を経過した後は、新しい回に入らない。7回終了時、同点の場合は8回からタイブレークにより試合を延長して行う。
- (3) 試合時間が90分を超えて同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームのメンバーの抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 指名打者（DH）及び、再出場（リエントリー）を採用する。
- (5) 試合球は、全日本グラウンドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャー及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、専任のコーチャーは31番から34番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。
また、ユニフォームの左袖に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるランナーコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。

- (4) スコアラー及びマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中の選手（コーチャー含む。）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

5 組合せ

組合せは、令和4（2022）年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻 30 分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。
ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配付する。
- (2) 攻守の決定は、打順表の提出時に審判員立会いのもと決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 令和4（2022）年10月28日（金）に監督会議を行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチャー、選手、スコアラー、マネージャー以外は入ることができない。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) アイシェード、全盲プレイヤーの標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。